

東大柏部会 中沢幹雄(商船三井ロジスティクスOB)

3年前まで交流していた中国からの留学生の王さんとは時折連絡があったが、9月初めにメールが入り、現在の会社(造船会社のゴミ焼却プラント部門に勤務)は、やはり一生の仕事としては違和感があり10月より東京のコンサルティング会社に勤務することになったとの報告でした。大学院卒業時にいくつかのコンサルティング会社を受けたが残念ながら合格の知らせはもらえなかった。そこで今回は再度の挑戦だったそうです。

私は、「それは良かった。合格オメデトウ。では、改めて就職祝いをしよう」ということで9月中旬に日比谷公園で会い、公園内のガーデンテラスのレストランで乾杯をしました。

とは言っても緊急事態宣言の時期、ノン・アルコールビールでの乾杯であった。

昔話として日比谷から築地方面には道路に都電が走っていることなどを説明したら、「それ路面電車ですね」と今では多くの言葉を覚え、そこには中国からの留学生の面影はなく完全に日本人サラリーマンになっていたのには驚きでした。

中国にいる高校教員をしている両親も来年には定年だそうで、「一度、両親を東京に呼びたい」と語っていたその姿は昔の日本の苦学生が両親への感謝の想いを投影しているようであった。厳しい環境のコンサルティング会社で王さんは、大変な苦勞をと思うが、不屈の精神で頑張っていくことを祈りたい。